

第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

- 1 日 時 令和4年11月11日(金) 第5校時
- 2 場 所 5年生教室
- 3 学 年 第5学年 男子9名 女子5名 計14名
- 4 単元名 「来見の笑顔と元気とりもどし隊」～来見の町を元気にするためにできること～
- 5 単元について

○児童観

本学級の児童は、4年時の総合的な学習の時間「誰も知らない来見冒険団」の学習で、来見地区の「おすすめの場所」にスポット当てて、それを発信する活動に取り組んできた。

4月当初、新型コロナウイルスの影響で、昨年度もたくさんの行事が中止・縮小されてきたこと、その都度委員会等で話し合い、自分たちにできることを考えて取り組んで来たことを想起させ、そのときの自分たちの気持ちについて振り返らせた。すると、「縮小されて残念だった。」「今年があつたらいいな。」といった声が多く見られた。地域の行事については、「花火大会が中止になったのが残念。」「地区民運動会もできなかった。」といった声があがった。「たくさんの地域の行事が中止・縮小されて、来見の町の人々は、残念な気持ちになっているだろうから、委員会活動でしてきたように、自分たちにできる活動をして、町を元気にできないかな。」という思いから1年間の探究課題を設定し、本年度の総合的な学習の時間の学習が始まった。

次に、「地域の人には本当に、行事がなくなって残念だと思っているのかな?」という課題を設定し、それらを調べるために、主催者へのインタビューや地域の方へのアンケートを行い、情報収集を行った。アンケートの結果を集計して整理分析したり、国語科と関連させてインタビューの結果を報告文にまとめた活動を通して、①地域の多くの人が、行事が中止・縮小されて残念に思っておられること②新型コロナウイルスへの感染を不安視している人も少なからずいること③地域の多くの人が、「地域の子供たちに楽しんでほしいから、行事はあつたほうがいい。」「子供たちの姿が見たい。」と思っておられ、自分たちが、地域の方の支えや温かい思いの中で過ごすことができているのだということ④行事によっては、来見小学校の児童の参加が少なく、残念に思っておられること等が分かった。振り返りでは、「自分たちにできることをしたい。」と記入した児童が多かった。

そこで児童は、「星祭りの参加人数が少なくて困っておられるから、星や星祭りについて小学生に知ってもらうための活動ができないかな?」と新たな課題を設定し、低中高学年グループに分かれて、どんな活動ができるかを考え始めている。2学期の学習では、考えた活動ができるかを話し合ったり、よりよくしたりして、具体的な活動をするところから始める予定である。

本学級の児童に、総合的な学習についてのアンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。

		よくあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない
1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。	2	8	3	1
2	地域の方のために自分にできることを考えています。	4	8	1	1
3	友達や、地域の方がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思います。	4	7	2	1
4	解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えるかを考えることができます。	3	6	4	1
5	課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	1	6	5	2
6	課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	2	6	4	2

7	たくさんの資料から、さまざまな情報を集めることができます。	2	8	3	1
8	集めた情報から、必要な情報を選んで、調べたことをまとめることができます。	2	8	3	1
9	調べてわかったことを、わかりやすい方法（図、グラフ、表など）を考えてまとめています。	4	6	3	1
10	調べたことを比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。	1	8	3	2
11	友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	8	4	1	1
12	発表する相手を考えて、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。	2	7	3	2
13	自分の考えを進んで伝えています。	3	6	3	2
14	友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくらうとしています。	1	7	5	1
15	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	1	7	5	1
16	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	5	4	4	1
☆	自分の住んでいる地域のことが好きです。	8	3	0	2
課題発見力	地域の中から、問題を見つけています。	4	7	2	1
課題解決力	自分と相手の考えを比較し、まとめたり伝えたりしています。	0	8	4	2
振り返り力	学習計画に照らし合わせて振り返っています。	5	4	4	1

アンケートの結果から、2「地域の方のために自分にできることを考えています。」3「友達や、地域の方がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思います。」☆「自分の住んでいる地域のことが好きです。」課題発見力「地域の中から、問題を見つけています。」等の項目で、肯定的な回答が多いことが分かる。児童が1学期の学習を通して、地域の課題を解決したいという思いをもち、主体的に課題解決しようと思っていることが分かる。また、11「友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。」の項目にも肯定的な回答が多く、話し合い活動を通して、友達の多様な考えを知ることで、学びの深まりを実感している児童が多いことが分かる。

しかし、その他の項目では、否定的な回答をしている児童が多いことが分かる。5「課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。」6「課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。」の項目については、1学期の学習ではアンケートやインタビューで情報収集は行ったものの、資料を選んで調べるという活動はほとんど行えていないため、否定的な回答が多いと予想される。12「発表する相手を考えて、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。」13「自分の考えを進んで伝えています。」14「友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくらうとしています。」の項目で否定的な回答が多いのは、自分に自信をもてないという学級実態が影響していると考えられる。また、自分の考えを分かりやすく伝えようと工夫したり、お互いが納得のいく考えを作り出すために、話し合いの仕方を工夫し

たりする等の技能が十分身に付いていないと考えられる。そのため、国語科等とも関連させながら、話合いの技能を向上させたり、学習を通してどのような力が育ったのかを自覚化させたりする振り返りをしていく必要がある。

本学級の児童は、言われたことや決まっていることは一生懸命行うことができる素直さがある。しかし、自分たちで考えて行動することに課題がある。学校のルールを理解していても、守ることができなかつたり、周りの人に流されて、適切な行動ができなかつたりすることが多い。来見小学校の高学年として、自ら考えて行動できる力を身に付けさせたい。また、友達との人間関係に課題がある児童が多い。総合的な学習の時間の中でも、相手を傷つける言葉が出る時がある。相手を思いやる言葉を使い、協働的に学べるようになる必要がある。総合的な学習の時間で、友達と協働的に学ぶことを通して、学級の課題の解決を目指していきたいという指導者としての思いもある。

○単元観

本校の地域は、自然・歴史・文化等総合的な学習の教材の宝庫である。自分たちの地域の中から見つけた課題は、まさに自分事の課題である。来見地区は、井関・大矢・時安・坂瀬川等の古くからある自治振興区と、新興住宅地である星の里団地からなっている。来見小学校に在籍しているのは、ほとんどが星の里団地の児童である。星の里団地では、その他の自治振興区のような行事があまり行われておらず、地域の人どうしがつながりにくい。さらに、新型コロナウイルス感染症の流行によって、地域での行事は中止・縮小され、地域での関わりというものは希薄になっている。しかし、来見の町には、これまで地域を支えてこられた人々が作った素敵な行事がたくさんある。井関納涼花火大会は、2005年に地元の若者たち（井関新友会）が地域を盛り上げようとして始めた花火大会で、商店街から打ち上げられる花火は約1000発である。広く宣伝はされていないが、口コミが広がり、福山市内からもたくさんの人が訪れる大きなイベントである。花火の打ち上げ以外にも、屋台やコンサート、神楽等が行われる。星まつりは、一般の方々に星の世界に親んでもらうために、さんわ天体観測の会（旧三和町天体観測の会）をはじめとする近隣のアマチュア天文家が協力し合って、毎年夏休みに開催している行事である。1983年から始まり、今年で39年目を迎える（中止等も含む）。会場となる、来見小学校屋上の天体ドームとグラウンドでは、一晩中、天の川、惑星、星雲星団の観測ができ、体育館では、パネル展示、天文情報検索、天文工作等中でも外でも楽しむことができる。くるみふれあいまつりは、くるみふれあいプラザで年に1回行われている文化的行事で、保育所や小学校の児童の発表、放課後児童クラブでの習い事の発表等が行われ、地域の人々の交流が行われている。くるみ地区民運動会は、神石高原町内の5つの小学校、三和小校区・来見小学校区・油木小学校区・神石小学校区・豊松小学校区に分かれて、それぞれの地区で行われている運動会の1つで、地域のお年寄りから子供まで参加する体育的な行事である。地域の体育協会が主催で行われており、地元の中学生在が運営を手伝う等、地域活性化の一役を担っている。このような地域の行事を題材として学習することを通して、自分たちの地域を見つめ、地域の人々の姿から地域のよさや課題を明らかにすることで、子供たちが主体となって学習活動を進めていくことができると考える。

本単元では、新型コロナウイルス感染症の流行によって、「井関花火大会」「星祭り」「くるみふれあいまつり」「地区民運動会」等の「来見の地域の行事」が中止・縮小され、地域の人々の関わりが少なくなっていること等から、町の元気や笑顔を取り戻すために自分たちにできることはないかを考える（課題発見力）。さらに、地域の行事が中止・縮小されて、地域の方々がどんな気持ちをもっているのかを調べたり、それらの行事の主催者の方々がどんな願いをもっているのかを調べたりする。こういった活動を通して、自分たちの生活や楽しんでいた行事が、地域の方々の支えによって行われていたことや、運営に携わっている人々の葛藤に気づき、地域を元気にするために自分たちにできることをしていきたいという心情を育てていきたい（課題解決力）。そして、来見の町を元気にするための活動を考え、試行錯誤することを通して、仲間と協力して課題に取り組むことの大切さや、地域の人（相手）に元気を届けられると、自分たちもうれしかったり、気持ちよくなったりするという、自己の成長に気付かせていきたい（振り返り力）。

このように、来見地区は、地域的な課題を抱えながらも、住民が町を活性化しようと取り組んできた町である。そんな町の人から学び、自分たちにできることを考えるという活動は、課題発見・解決学習のテーマに適していると考えられる。

○指導観

児童は1学期末に、「課題設定」の場面で、「来見の町を元気にするために、自分たちにできることは何だろう。（星まつりについて）」という課題を設定している。

2学期は、「情報収集」の場面で、星について小学生に知ってもらうためには何ができるかを考えたり、インターネットや本を使って調べたりして、具体的な活動を考えていきたい。調べる活動では、自分で調べることや調べる方法を選択させることを重視し、調べたことについては、整理し可視化させることで、自分たちが分かっていることと、今後したいことが明確になるようにして考えさせていきたい。また、地域の方から学ぶ機会を作り、地域の方の想いや願いを知り、地域に対する誇りや愛着、また自分たちも地域のために何かできるのではないかという考えをもって、実際に行動できるように取り組ませるとともに、その活動が実施可能かどうかを吟味したり、よりよい活動になるかを話し合ったりする活動を行っていきたい（立ち止まりポイント）。さらに、活動をして終わりではなく、「星について知ってもらえたのか。」「町の元気や笑顔が取り戻せたのか。」という視点で、活動内容を自分たちで分析することが必要である。そのために、「整理・分析」の場面では、アンケート等を実施する等して、課題解決に向けて活動ができているのかを見取ることが必要である。そのためにも、「来見の町の元気や笑顔を取り戻す」という目的を常に意識させる声かけが大切である（立ち止まりポイント）。また、話し合い活動をする際には、学級活動と関連させ、相手に応じて適切に話したり、相手の多様な考えを受け入れたりしながら、友達の意見を大切にしたり、友達の意見の良さに気付いたりする力を向上させ、思いやりの心を育てたい。また、国語科と関連させ、考えを広げたりまとめたりしながら、目的の達成に向けて計画的に話し合う技能を向上させていきたい。

「まとめ・表現」では、自分たちが調べてきた活動を、どのようにまとめたり、表現したりしていくのかを自分たちで決めさせ、主体的に表現しようとする態度を育てたい。「振り返り」の場面では、視点を与えて振り返りをさせることで、したことだけを振り返るのではなく、学習を通してどんな力が付いたのかを振り返ったり、今後の学習を見通した振り返りとなるようにしたりしていきたい。また、常に目的を意識させ続けることで、より具体的で主体的な「振り返り」を期待したい。

3学期の活動では、「星まつりについては知ってもらえたけど、これで来見の町の元気と笑顔が取り戻せたのかな。」「主催者の立原さんは喜んでくれたかもしれないけど、町の人はどうだろう。」という課題が生まれると予想される。3学期は、1学期の学習で分かった、地域の方が子供たちのことを考えてくださっていることや、地域の方の思いや支えの中で自分たちが生活できているという気付きから、「来見の町の元気や笑顔を取り戻すために、自分たちには何ができるか。」を考えさせていくような指導の工夫が必要である（立ち止まりポイント）。

課題発見力	地域を題材に取り上げ、地域の課題を学習対象にする。
課題解決力	自分たちに何ができるのかを考え、協働的に検討しながら実行させる。
振り返り力	視点を決めて振り返りを行ったり、ルーブリック評価を取り入れたりする。

6 単元目標

- 身近な「ひと」や「こと」に関わったり、地域の課題を解決するための取組を行ったりすることを通して、自分たちが地域の方の支えの中で生きていることや、地域の方の思いや願いを理解し、地域の笑顔や元気を取り戻すために自分たちにできることについて考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	課題設定し、解決する方法を考えている。
課題解決力	よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。
振り返り力	学んだことを自己の生き方につなげて振り返っている。

8 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な学習に取り組む態度
本校で付けた 賞賞・能力		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単 元 の 評 価 規 準	<p>① 自分たちの生活が、地域の方の思いに支えられていることや、地域の行事の課題解決に向けて、自分たちにもできることがあることを理解している。</p> <p>② 地域の方の行事に対する思いや願い、地域の課題を解決するための方法について、適切な方法で調査を実施している。</p> <p>③ 地域の行事についての課題を解決したということは、自分たちが探究的に学習していることの成果であることに気付いている。</p>	<p>④ 地域の行事についての課題解決に向けて、自分たちにできることを考えている。(課題発見力)</p> <p>⑤ 地域の行事についての課題解決のために、どんな資料や情報が必要かを考えている。</p> <p>⑥ 課題解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、地域のために自分たちにできることについて考えている。</p> <p>⑦ 自分たちが取り組んできたことについてよりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。(課題解決力)</p>	<p>⑧ 地域の行事の課題を解決するために、自分の考えをもって取り組んだり、他者の意見や考えを踏まえたりしながら学ぼうとしている。</p> <p>⑨ 自分たちの生活が地域の方の思いに支えられていることを自覚し、地域のためにできることを自他の考えを大切にしながら友達と協力して取り組もうとしている。</p> <p>⑩ 地域の行事の課題を解決するために学んだことを、これからの生活とつなげて振り返ろうとしている。(振り返り力)</p>

9 単元におけるルーブリック (思考力, 判断力, 表現力等⑦)

A	B	C
「来見の笑顔と元気を取りもどす」ための活動について、よりよい考えを検討し、友達や地域の人と協力して考えた活動を実践しようとしている。	「来見の笑顔と元気を取りもどす」ための活動について、よりよい考えを検討し、考えた活動を実践しようとしている。	「来見の笑顔と元気を取りもどす」ための活動について、よりよい考えを検討し、活動を実践しようとすることができない。

10 主な学習活動と評価規準（全70時間）

主な学習活動	評価規準
<p>【課題設定】 ○単元の課題設定をする。 ・新型コロナウイルス感染症の流行で、地域の行事が中止・縮小されたことで、来見の地域の人々が、どんな気持ちなのかを予想する。 ・地域の行事に携わってきた人の思いや願いに気づき、来見の町を元気にするために自分たちにできることはないかを考えるという課題を設定する。</p> <p>年間テーマ 「来見の笑顔と元気とりもどし隊」～来見の町を元気にするためにできること～</p> <p>【課題設定1】 新型コロナウイルス感染症の流行で行事が中止・縮小されて、来見の町の人はどう思っているのか調べよう。</p> <p>【情報収集1】 ○設定した課題について調べる方法を考える。 ・アンケートをする。 （来見の地域の人々は、感染症の流行で様々な行事が中止・縮小されてどんな気持ちなのかを調べる。） ・インタビューをする。 （行事に携わっている人々をゲストティーチャーに迎えて話を聞き、思いや願いを聞き取る。）</p> <p>【整理分析1】 ○収集した情報を整理する。 ①地区民運動会 ・子供たちや高齢者の関わりが減っている。 ・子供たちの姿を見ることができず、さみしい。 ・みんなが話し合い、納得して実施することが大切。 ・今年は中止された。 ②星祭り ・参加者が減ってきている。 ・来見小学校の児童にも参加してほしいが、保護者への呼びかけが必要。（子供だけでは来ることができないから） ・昔の人の星への思いを伝えたい。 ・今年は実施予定だったが、7月末に中止が決まった。 ③井関納涼花火大会 ・地域の人々の熱い思いで始まった。 ・地域のたくさんの方が、花火大会を楽しみにしている。 ・多くの人が集まるので、今年は中止になった。</p>	<p>④ 地域の行事についての課題解決に向けて、自分たちにできることを考えている。</p> <p>⑤ 地域の行事についての課題解決のために、どんな資料や情報が必要かを考えている。</p> <p>② 地域の方の行事に対する思いや願い、地域の課題を解決するための方法について、適切な方法で調査を実施している。</p>

一学期

<p>④ふれあいまつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人に、学ぶ喜びを感じてほしいという想いから、始まった。 ・今年実施するかどうかは話し合っで決める。 ・各行事に携わっている人の思いにも触れる。 <p>【まとめ・表現1】</p> <p>○来見地区の「行事」について報告文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各行事に携わっている人の思いにも触れる。 <p>【振り返り】</p> <p>○地域の人が、子供たちのことをたくさん考えてくれていることが分かった。</p> <p>○自分たちにできることをしたい。</p> <p>○星祭りに参加する人が増えるようにするために、できることはないかな。</p> <p>【課題設定2】</p> <p>来見の町を元気にするために、自分たちにできることは何だろう。</p> <p>○整理した情報から、町を元気にするために自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星祭りの参加人数を増やすために、学校の人に呼びかけることは、自分たちにもできるかもしれない。 <p>【情報収集2】</p> <p>○星について、たくさんの人に知ってもらうために、自分たちにできることについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①低学年グループ・・・紙芝居・プレゼント ②中学年グループ・・・星クイズ ③6年生グループ・・・星の物語やドームの歴史 	<p>⑥ 自分たちが取り組んできたことについてよりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。（課題解決力）</p> <p>③ 地域の行事についての課題解決に向けて、自分たちにできることを考えている。（課題発見力）</p> <p>④ 地域の行事についての課題解決のために、どんな資料や情報が必要かを考えている。</p>
---	---

<p>一 学 期</p>	<p>○考えた活動が、実施可能かどうかを検討する。 ○計画を実施し、アンケートを実施する。</p> <p>【整理・分析2】</p> <p>○来見の町を元気にできそうかという視点で、これまでの活動や収集してきた情報を整理・分析し、活動の改善をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が星に興味をもってくれたら、立原さんは喜んでくれそうだな。 <p>【まとめ・表現2】</p> <p>○保護者にも、自分たちの活動について知ってもらえるよう、 参観日に発表をする。</p> <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星については、いろいろな人に知ってもらえたけど、これで町が元気になったのかな。 ・小学生には楽しさが伝わって、立原さんは喜んでくれるかもしれないけど、地域の人を笑顔や元気にすることはできたのかな？ <p>【課題設定3】</p> <p>来見の町のたくさんの人を元気にするために、自分たちにできることはなんだろう。</p> <p>【情報収集3】</p> <p>○よりたくさんの人に、子供たちの姿や頑張りを見てもらって、笑顔になったり元気になったりしてもらう方法はないかを考え、考えた活動が、実施可能かどうかを検討する。</p> <p>(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役場の方等をゲストティーチャーとして迎え、実施に向けてのアドバイスをいただく。 ・実施するためには、誰にどんなふうに依頼をしたらいいのかを考え、実践する。 	<p>⑦ 地域の行事の課題を解決するために、自分の考えをもって取り組んだり、他者の意見や考えを踏まえたりしながら学ぼうとしている。</p> <p>⑤ 課題解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、地域のために自分たちにできることについて考えている。</p> <p>① 自分たちの生活が、地域の方の思いに支えられていることや、地域の行事の課題解決に向けて、自分たちにもできることがあることを理解している。</p> <p>④ 地域の行事についての課題解決に向けて、自分たちにできることを考えている。(課題発見力)</p> <p>⑧ 自分たちの生活が地域の方の思いに支えられていることを自覚し、地域のためにできることを自他の考えを大切にしながら友達と協力して取り組もうとしている。</p>
----------------------	--	---

三 学 期	<p>【整理・分析3】 ○来見の町を元気にできそうかという視点で、これまで収集してきた情報を整理・分析し、活動の改善をする。</p> <p>【まとめ・表現3】 ○活動を通して、来見を笑顔や元気のある町にすることができたのかを振り返る。 ・ポートフォリオしていたものをまとめ、感想を書く。 ・お世話になった方にお礼の手紙を書く。</p> <p>【振り返り3】 ・学習を通して、付いた力や成長したこと、生活に生かしたいこと等の視点に沿って、自己肯定感を感じられる振り返りをする。 ・誰かのために一生懸命考えて活動したことを喜んでもらえたら、自分たちも温かい気持ちになることに気付かせる。</p>	<p>⑥ 課題解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、地域のために自分たちにできることについて考えている。</p> <p>⑨ 地域の行事の課題を解決するために学んだことを、これからの生活とつなげて振り返ろうとしている。</p> <p>③ 地域の行事についての課題を解決したということは、自分たちが探究的に学習していることの成果であることに気付いている。</p>
-------------	--	---

11 本時の学習

(1) 本時の目標

自分たちの活動を他のグループに紹介し、アドバイスし合って、よりよい活動にしようと考えてことができる。

(2) 本時の評価規準

地域のためにできることについて、自他の考えを生かしながら話し合い、友達と協力して取り組もうとしている。

(3) 準備物

〔指導者〕 Jamboard 掲示

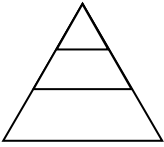
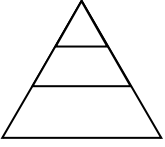
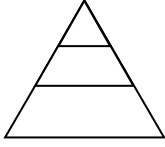
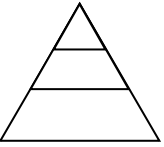
〔児童〕 分かったこと、気づいたことをまとめたワークシート

(4) 学習の展開 (47/70 時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1 学習計画を振り返る。	・これまでの活動で考えてきた、「よりたくさんの人たちに、自分たちの頑張りや子供たちの姿を見て喜んでもらうには、どうしたらいいのか。」を振り返り、本時の活動への見通しをもたせる。	
2 めあてを確認する。	町の笑顔と元気を取り戻すために、どんな活動ができるかを話し合おう。	
3 学習の流れを確認する。	・児童と本時の流れを確認し、活動の意欲を高める。	
4 グループに分かれ、自分たちの考えた活動について話し合う。	・①子供の姿を見たい ・②コロナ対策をする ・③自分たちにできること	○地域のためにできることについて、自他

<p>① 4つのグループに分かれる。 Aグループ（4人） Bグループ（3人） Cグループ（4人） Dグループ（3人）</p> <p>② グループごとに、個人で考えた活動を、ピラミッドの最下層に貼りながら、意見を言う。</p> <p>③ コロナ対策ができるかどうかという視点で、最下層の付箋を中間層に移動する。</p> <p>④ 自分たちにできるかどうかという視点で、ピラミッドの頂点に付箋を移動する。</p> <p>5 それぞれのグループで出た意見を発表する。</p> <p>6 振り返り</p>	<p>の3つの条件を満たす活動にするにはどうしたらいいかを、ピラミッドチャートを使って話し合うことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コロナ対策ができないから、しない。」「自分たちだけではできないから、しない。」のではなく、「どうやったらできるかな。」と考え、お互いの意見を大切にしながらピラミッドの頂点に付箋を運ばせるようにする。 ・できると考えた活動（頂点に貼った活動）や、できるかどうか悩んでいることとそのわけについて発表させる。 ・①子供の姿を見たい ・②コロナ対策をする ・③自分たちにできること <p>の3つの条件を満たしているかに気を付けながら発表を聞き、質問してもよいことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリックで自己評価する。 ・①話し合いで、いいと思った活動 ・②話し合いを協力して進められたか ・③友達の良かったところ ・④次の時間にどんなことをしたいかという振り返りの視点を提示する。 ・次時の見通しをもたせる。 	<p>の考えを生かしながら話し合い、友達と協力して取り組もうとしている。（発言・行動・ワークシート等）</p>
--	---	---

12 板書計画

課題	町の笑顔と元気を取り戻すために、どんな活動ができるかを話し合おう。			
学習の流れ	<p>Aグループ</p> 	<p>Bグループ</p> 	<p>Cグループ</p> 	<p>Dグループ</p> 
ルーブリック				

1. グループに分かれて話し合う

- ① 子供の姿を見たい
- ② コロナ対策をする
- ③ 自分たちにできること

2. 出た意見を発表

3. 振り返り